

「第2次坂出市健康増進計画」取組状況

No.	分野	大目標	小目標	担当部署	関連事業	平成30年度の実績(見込)	事業の評価	評価理由	2019年度の取り組み
1	栄養・食生活	食生活を豊かにしよう	① 栄養バランスのとれた食事をとる	けんこう課	・離乳食講習 ・栄養教室 ・健康相談 ・レベルアップ教室 ・健幸まつり	・離乳食講習会(毎月実施)121名の両親が参加。 ・栄養相談(毎月実施)相談者8名。 ・栄養教室(8回実施)14名の受講生あり。 ・レベルアップ教室(7回実施)参加者計140名。 ・健幸まつりにおいて、学校給食会の協力により、学校給食で提供されているバランスが取れた食事の展示を実施。	継続	離乳食講習会では、望ましい食習慣が身につくよう支援できた。 食生活改善推進協議会事業である、栄養教室、レベルアップ教室では、ライフステージに応じた食に関する講義や実習ができる機会を設けた。	継続実施
				かいご課	・一般介護予防事業 ・介護予防・日常生活支援サービス事業	・アンチエイジング教室にて「美味しい食事といいきとした生活」をテーマに管理栄養士による講演を実施。参加者数27名。 ・介護予防・日常生活支援総合事業のパンフレットを窓口等で周知。 ・地域包括支援センターにおける介護予防通所介護相当サービス利用者の1月利用分において栄養改善加算利用者は247名中0名。また、栄養スクリーニング加算利用者は247名中7名。 ・介護予防普及啓発パンフレットを作成し、普及予定。	継続	引き続き、栄養状態の維持・向上のための知識の普及啓発と、重症化防止の対応を行っていく必要があるため。	・アンチエイジング教室において、「美味しい食事といいきとした生活」をテーマに管理栄養士による講演を実施予定。 ・栄養状態の改善が必要な場合は、介護予防・日常生活支援総合事業で対応。 ・H30年度に作成した介護予防普及啓発パンフレットを、機会を捉えて幅広く配布。
				こども課	・地域子育て支援センター事業「たべもの情報室」 ・保育所児童に対する生活習慣病予防教育 ・保育所児童の保護者に対する子供の食事に関する教育	・地域子育て支援センター(3か所×年6回)での食育を実施。 ・保育所保護者会(西部保育所)で保護者向けの食育を実施。	継続	まろっ子広場での食育が不定期であったのが、定期的実施するようになった。 保育所児童への食育が未実施。	保育所児童への食育を実施する。
				学校教育課	すべての学年で実施。給食指導時や学級活動・保健指導・家庭科学習時に実施。	栄養教諭が中心となって、年間計画に沿って授業を行っている。また、「食育」については、食習慣、とくに「朝食」の大切さについて学校家庭連携で指導した。朝食の内容について、栄養のバランスなど細かく指導し、保護者に対しても「朝食」の重要性について理解を求めた。	継続	食育については、朝食についての調査は、毎年行っている。教師、子ども、保護者の意識は高くなっている。	継続実施
5	1	食生活を豊かにしよう	② 規則正しい食習慣を心がける	けんこう課	<再掲(No.1)>	<再掲(No.1)>	継続	<再掲(No.1)>	<再掲(No.1)>
6				かいご課	<再掲(No.2)>	<再掲(No.2)>	継続	<再掲(No.2)>	<再掲(No.2)>
7				こども課	<再掲(No.3)>	<再掲(No.3)>	継続	<再掲(No.3)>	<再掲(No.3)>
8				学校教育課	小学校、中学校においては、すべての学級で栄養教諭との連携で「食育」を実施。その中で規則正しい食習慣についても指導している。	規則正しい食習慣については、特に小学校において定期的にチェックカードを配布し、家庭の協力を得て調査を実施し、指導した。	継続	生活習慣を整えることは、心身の健康や学力向上にとって大変重要なことである。	継続実施
9	1	食生活を豊かにしよう	③ 家族や身近な人と一緒に食事をとる	けんこう課	<再掲(No.1)>	<再掲(No.1)>	継続	<再掲(No.1)>	<再掲(No.1)>
10				かいご課	<再掲(No.2)>	<再掲(No.2)>	継続	<再掲(No.2)>	<再掲(No.2)>
11				こども課	<再掲(No.3)>	<再掲(No.3)>	継続	<再掲(No.3)>	<再掲(No.3)>
12				学校教育課	小学校では、学校の行事として「親子給食」の機会を設けて実施している。幼稚園でもその取り組みは、広がり始めている。	家庭への啓発として、特に夕食を家族とともに取るように指導した。「親子給食」では、親子でいっしょに食べる良さを味わってもらった。	継続	学校から、家庭の団欒は食事から、特に会話をしながら楽しく食べることを家庭へ呼びかけている。一緒に食事をとることによって子どもの食に関する偏食等の状況を把握することにつながる。	継続実施